

受付年月日	年 月 日
同年月日	年 月 日
決裁年月日	年 月 日

支給額	円
支給内訳	
埋葬料	円
埋葬料附加金	円
埋葬費	円
埋葬費附加金	円

支給支払決議書	
資格取得	年 月 日
資格喪失	年 月 日
支払年月日	年 月 日

(注 意 事 項)

ア、標題の「被保険者」、「家族」の文字は、いずれか該当する文字をマルで囲むこと。
 イ、①欄は、健康保険の被保険者証を、⑤の(イ)欄は事業主から交付された死亡当時の「賃金支払内訳票」などを見て記載すること。
 ウ、被保険者が死亡したための請求であるときは、⑥の(ア)と(イ)と(ウ)の各欄に、また被扶養者が死亡したための請求であるときは、⑤の(ア)から(イ)までの各欄に「該当せず」とし、その他の欄は洩れなく記載すること。
 エ、⑤の(イ)と(ウ)の欄は、死亡した被保険者の被扶養者で埋葬を行なう者が請求する場合に限り「該当せず」とし、その他の者が請求（この場合は標題の「料」の文字を抹消すること）する場合は必ず記載するとともに、埋葬に要した費用の領収書（費用の内訳として品名、数量、単価及び金額が明記してあること）を添えること。なお、証拠書等が外国語で記載されている場合は、翻訳者の住所・氏名を明記した翻訳文を添付して下さい。

被保険者 家 族 埋葬料(費)・埋葬料(費)附加金請求書

① 被保険者証の 記号・番号	第 110 号 648 号	② 被保険者の勤務 していた、または 事業所の	(ア) 名称 〇〇〇株式会社
			(イ) 所在地 千代田区外神田 〇-〇-〇
③ 死亡した 年月日	H22年7月1日		④ 死亡 原因 心不全
⑤ 被保険者が死 亡したための 請求であるとき はその者の	(ア) 氏名 (イ) 埋葬した 年月日	年 月 日	(ウ) 埋葬に要 した費用 金 円
	(イ) 死亡した被 保険者との 関係	千 円	(ウ) 死亡した被 保険者との 続柄
⑥ 被扶養者が死 亡したための 請求は	(ア) 氏名 (イ) 生年月日	山田君子 明昭 28年2月1日	(ウ) 被保険者 との続柄 妻
⑦ 老人保健法の 医療を受けて いたとき	市町村 番号	受給者 番号	発行 機関名
⑧ 備 考			
⑨ 振込希望の銀行 又は郵便局名	銀行	支店 (普通 当座 第 号)	郵便局
上記のとおり請求します。 H22年7月30日 健康保険組合理事長 殿			
請求者の住所 氏名 山田 順一郎			⑪ ⑫

⑬ 委任状	私は 平岩太郎 を代理人と定め、次の権限を委任する。 H22年8月5日請求した被保険者埋葬料(費)・被保険者埋葬料(費)附加金のうち金 円也の受領に関すること。 H22年8月5日 請求者の住所 山田 順一郎 代理人の住所 千代田区外神田 〇-〇-〇 〇〇〇株式会社 平岩太郎	⑬ ⑭ ⑮ ⑯	
⑰ 振込希望の銀行 又は郵便局名	銀行	支店 (普通 当座 第 号)	郵便局

⑳ 領 収 書	金 円也但し うえの金額を領収いたしました。 年 月 日 健康保険組合理事長 殿 受領者 ⑳住所 ㉑氏名	㉑ ㉒
---------------	---------------------------------------------------------------------	--------

㉔ 死亡した 者の氏名	山田君子	㉕ 死亡した者	被保険者・被扶養者
死亡した年月日	H22年7月1日	死亡	
うえのとおり相違ないことを証明します。 H22年8月5日 事業主 ㉖住所 ㉗氏名 千代田区外神田 〇-〇-〇 〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇			

オ、⑧欄には、被保険者の資格を喪失した後の死亡であるときは、その資格喪失年月日
を、また死亡のときが死亡の日の三カ月前まで健康保険で療養を受けていたときに、
その傷病名と健康保険による療養の開始日などを記載すること。
カ、⑨欄は請求者が直接受領するときに振込希望の銀行又は郵便局を記載すること。
キ、⑩欄は、委任により代理受領するときに、代理人の希望する振込希望銀行名又は郵便
局名を記入して下さい。
ク、㉑欄は、直接健康保険組合の窓口で受領するときに記入して下さい。
ケ、死亡が第三者の行為によるものであるときは別に「第三者行為による傷病(死)届」
をつかって、この請求書に添付すること。
(添付書類)
事業主の証明を得ないで請求する場合は、この請求書に区市町村長の埋葬許可証、火
葬許可証の写、死亡診断書、死体検案書、検視調書の写を添付して下さい。